

# 103-339

## 問題文

28歳男性。双極性障害のために炭酸リチウム錠とバルプロ酸ナトリウム徐放錠で治療を行っている。今回、うつ症状の改善がみられないため、主治医よりラモトリギン錠を追加したいと薬剤部に相談があった。

バルプロ酸ナトリウム徐放錠とラモトリギン錠の併用に関する情報提供の内容について適切なのはどれか。1つ選べ。

1. ラモトリギン錠はバルプロ酸ナトリウム徐放錠と併用禁忌である。
2. 両剤の併用で血糖値上昇が考えられるので、定期的な検査を実施する。
3. 併用開始後2週間までは、ラモトリギン錠を隔日投与する。
4. 両剤の併用で血中アンモニア濃度の上昇が考えられるので、定期的な検査を実施する。
5. 両剤の併用でラモトリギンの半減期が短くなるため、投与量を漸増する。

---

## 解答

3

## 解説

ラモトリギンの投与により、中毒性表皮壊死融解症（Toxic Epidermal Necrolysis：TEN）、皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson症候群）等の重篤な皮膚障害があらわれることがあります。用法・用量を超えて投与した場合に皮膚障害の発現率が高いため特に注意が必要な薬剤です。バルプロ酸ナトリウム併用時は、投与開始2週間まで、隔日投与にします。（成人のみ）

以上より、正解は3です。